

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

11
月号
No.239

主な内容

- ・第25回 JA 全国大会の開催
- ・JA 鹿本女性部活動報告
- ・ガンバッテいます：古川孝記さん、村上幸子さん
- ・各連合会からのお知らせ

八代妙見祭（八代市：写真提供 熊本県）

約1300年前に、中国から妙見神が竜に乗って、八代に上陸したという故事にもとづいて、当時の八代藩主細川忠興がはじめたものであり、九州三大祭りの一つとして迫力ある祭りとなっている。また、県の重要無形民俗文化財にも指定されている。

せせらび

鳩山政権が誕生して、2ヶ月を経過したが、米軍基地移設問題等内閣の混乱は続く中、内閣支持率は相変わらず60%を超え、順調に推移している。しかし新政権の目玉でもある、来年度からの米戸別所得補償モデル事業は今なお不透明であり、今後の新政権としての農業政策が懸念される。

こうした中、十月二十九日、平成二十一年度、「JA熊本県青壮年部大会」が、熊本市内のホテルに、県内各地から三百名の盟友を集め、開催された。

大会は、例年どおり「盟友の主張発表大会」「組織活動実績発表大会」等が行なわれ、大いに盛り上がり、青壮年部員の地域での力強い活動の一端を垣間見ることができた。

「新しい時代を作るのは、農業を志す若い力です。」「もうすぐ生まれてくる我が子に、パパが農業している姿 チョウウーかっとういいと尊敬されるような百姓になります。」「JAやつしろ青壮年部 下先功晃君

「一度きりの人生、牛一頭一頭、デコボン一つ一つに思いを込め、青壮年部・地域の方々にそして祖父・父の思いを受け継ぎ、この道を究めて、立派な熊本の農業人になります。これが私の "it's my dream" です。」「JA本渡五和青壮年部 倉田政幸君

「サライーマンは飲めば必ず上司や会社の愚痴だったが、盟友たちは将来を熱く語るのだ。さすが皆経営者、とにかく真剣で前向きなのである。」「JA玉名青壮年部 梶原繁君

「そしてみなさん、届けようじゃありませんか！ みんなの食卓へ、私たちが作った、当たり前前の安全・安心、その上エコ！ そんな笑顔のブランドを！」（JA菊池青壮年部 坂田正平君）

会場一杯の青壮年部盟友の熱すぎる熱気。熊本農業は、まだまだ底力があると確信した。そして久しぶりにさわやかな気持ちに浸された、秋の一日だった。

第25回J A全国大会の開催

「大転換期における新たな協同の創造」と題して「農業の復権」、「地域の再生」、「J A経営の変革」の3本柱で新たなネットワーク構築に取り組む。

大転換期における新たな協同の創造（大会議案の概要）

食料・農業・地域への貢献とJ A経営の変革

消費者との連携による農業の復権（食料・農業）

1. 農業生産額と農業所得の増大

第25回J A全国大会が10月8日、J A全中主催で東京渋谷のNHKホールで開催された。全国からJ A関係者が集まり「組合意識」を高めて、J Aグループの共通の意思を決定し、これを内外に表明するために3年ごとに開かれています。大会には、全国から2500名のJ A代表が結集、本県からも約40名が参加しました。今回の大きなテーマは、「大転換期における新たな協同の創造」です。消費者とJ Aとの「協同」、さまざまな協同組合とJ Aとの「協同」、一般の企業とJ Aとの「協同」など、これまでの枠を大きく超えて、「協同」していくことが求められています。農業は大転換期を迎え、地方経済の疲弊や農村社会の活力低下など、厳しい状況ではありますが、今こそJ Aが社会的な役割を果たす必要があります。そのためにこれからの3年間、J Aグループとして取り組むべき重点実施事項の概要を紹介します。

J Aグループは、農業生産額と農業所得を増大し、農業・農村に元気を取り戻します。そのため、J Aは、「地域農業戦略」を見直し・策定するとともに、その実現のためにJ Aグループ一体となって生産から流通・販売を通じた戦略を構築します。

J Aファーマー

ズ・マーケットを中心とした地産地消運動を展開するとともに、J Aグループが一体となった生産・流通・顔の見える販売体制「J Aグループ安全・安心ネットワーク」を構築します。また、国民の合意形成をはかり、新たな農畜産物の貿易ルールの確立や農業の多面的機能を発揮する支援対策や新たな直接支払い制度の創設を働きかけます。

2. 農地活用と担い手支援による自給力の強化

J Aグループは、農業の有効活用の取組みを強化するとともに、地域の農業のあり方を見通すなかで、家族農業経営、生産者組織、

集落営農組織、法人、新規就農など地域・品目別に多様な担い手への支援を強化していきます。また、地域農業の維持の観点から、J A経営全体への影響や組合員の合意などを前提とした上で、J Aによる農業経営等の取組みを進めます。

3. 国民の合意形成

農業の多面的機能への理解促進や、地域が一体となった「J A食農教育」の推進に、消費者とともに取り組んでいきます。また、「みんなのよい食プロジェクト」を国民運動として展開し、農業や国産農畜産物の重要性・安全性等を広く国民にアピールして、国民理解を醸成します。

総合性発揮による地域の再生（くらし・地域）

1. 組合員・地域住民のくらしの総合的な支援

地域経済が縮小していくなかで、J Aは総合性を発揮して各種事業・活動を幅広く提供し、新たな協同の創造を通じて地域の再生に貢献します。また、新規就農の支援や介護保険事業等J Aくらしの活動の支援によって、地域「ミニコミュニティ」ビジネスを創出するなど、雇用の場を提供するとともに、安定的な雇用の確保に努めます。

2. 「J Aくらしの活動」の推進による新たな協同の創造

J Aは、組合員や地域住民の自主的な取組みであるくらしの活動を支援するこ

とで取組み全体を「JAくらしの活動」として推進し、この取組みを通じて新たな協同を創造します。特に「JAくらしの活動」として①「食と農」を機軸とした地域活性化や②「助けあい」を軸とした地域セーフティネット機能の発揮に取組みとともに、③地域コミュニティ活性化の「場」の設定、④地域における環境問題への取組みを推進します。

協同を支える経営の変革 (組織・経営)

1. JAらしい経営スタイルの確立

JAは、経営トップのリーダーシップのもと、「地域農業の振興とくらしの活動などの地域貢献」を実践するための経営理念を明確化します。その上で、経営戦略を策定し、経営計画に具現化して、地域における営農・生活事業を戦略的に展開します。そうすることで、組合員・利用者満足度のみならず職員満足度の向上と万全な経営の確立を目指します。

2. 組織基盤の拡充と事業基盤の強化および組合員との関係強化

農業構造の変化に対応した取組みを展開することで正組合員基盤の維持・拡大をはかります。更に、JAの総合事業・活動に賛同する者を幅広く組合員として加入促進し、JAの組織活性化と結集力の強化をはかります。

3. JAグループの事業伸長と効率経営に向けた対応

JAの経営を取り巻く環境が極めて厳しくなることが予想されることから、JAの事業・活動の強化と経営の高度化をはかります。あわせて、効率化可能な部分については、JAの枠を超えた効率的な事業運営の仕組みを確立することで、JAと中央会・連合会・トータルでの効率化・合理化を徹底します。その結果、効率的な事業運営が可能となることから、JAは時宜用・活動の一層の強化に向けた推進体制を構築します。

4. 総合事業性を発揮するためのJAの健全経営の確立

JAは、健全な経営を確立するため、適切な執行体

制の確立やリスク管理の強化等に取り組みます。また、中央会は、小規模JA対策、不振JA解消に取り組みます。そのため、中央会・連合会は、一体的運営による指導機能の強化に取り組みます。

5. 活力ある職場づくり

JAの事業・活動の展開やJA経営の変革を着実に

実践していくために、トータル人事制度の確立・運用により必要な人材を確保・育成します。加えて、職場のチーム力の組成とやる気を醸成し、部門横断的な全員参加型の活力ある職場づくりに取り組みます。

分科会セミナーの開催

大会の分科会セミナーでは、農商工連携推進に係わるJAグループの取組みとして、JAあしきたの高峰組合長が事例報告をしました。各分科会では、「日本・食と農をだれが守るのか」「農業・農村の課題とJAの役割を探る」など、テーマごとに分かれて検討が行われました。



女性部活動報告

■ JA鹿本女性部 ■

*JA鹿本女性部ふれあいの旅

JA鹿本女性部では、H20年10月23日～24日に交流を深めようと1泊2日の旅を開催しました。今年で3回目を迎えました。日程は、山口県門司レトロを散策し、2日目に綾小路きみまろの「爆笑スーパーライブ」を観劇し、きみまろに負けないくらい



▶JA鹿本女性部ふれあいの旅(山口にて)

のスーパーガイドさんで、笑いのたえない楽しいふれあいの旅でした。

*JA鹿本女性大会

JA鹿本では、H20年10月31日、JA女性大会を開催しました。JA女性部他400名の参加があり、「いま何故、男女共同参画社会づくりなのか」を演題に、川崎盤通先生にご講演いただきました。参加者からは、「家族で男女共同参画について話し合う、良いきっかけになった」という声が聞かれました。又、この大会を通じて、女性部の意識も高まり、女性正組合員加入推進にも繋がっていると思います。



▶JA鹿本女性大会

JA アグリキッズ教室から

*JAアグリキッズ教室

JA鹿本では、H20年12月23日、次世代を担う子供たちに、食料や農業の大切さを体験してもらいたいと青年部、女性部の協力を得て、第1回目のアグリキッズ教室を開催しました。今回は、70名の参加者があり、食育のビデオ学習や青年部、女性部の指導のもとだんご汁の団子こねや、おにぎりづくり、



▲もちつき体験

▼だご汁の団子こね



▲おにぎりづくり



もちつき体験を行いました。参加した子供達の中には、「おじいちゃんの後を継いで農業をしたい」と言う嬉しい声もありました。又、サプライズで蒲島県知事も見えられ、握手とサイン会で、大変良い思い出になったことと思います。



古川 孝記さん
JA菊池 特産部会長

JA菊池の古川さんのお宅を訪問しました。古川さんは昭和29年1月生まれ。

県営伝習農場を卒業後、県外で働いていました。

我家がシイタケ栽培農家であり、興味もあったことから、25才のとき帰ってきて、シイタケ栽培を始めました。

現在シイタケ10万斤、ネギ75a、水稲30a、アスパラ8aを栽培しています。

■シイタケが出来るまで

「シイタケ栽培は、根倒しの時期がポイント」と話す古川さんは、立木を伐採し、一ヶ月ほど葉枯らしします。その後、玉切りをした原木に、シイタケ菌の蔓延した種駒を打込みます。接種した種駒の乾燥を防ぎ、シイタケ菌をほだ木に早く活着させるため、ほだ木を積上げ、枝で覆います。気温が高くなり、降雨が多くなると湿度が高くなった頃、伏せこみを行います。その後、シイタケ菌が蔓延したほだ木を、湿度の高

い林内に移動して、合掌に組みます。このように、重量がある原木一本ずつに菌を植え、並べたり、運んだり大変な重労働、収穫まで約一年半かかります。

また、より自然な条件で育てるため気象の変化を受けやすく、今年のように雨が少なくと散水の手間がいります。

■国産シイタケ

菌床栽培による中国産の、安いシイタケの輸入急増により、価格が低迷し、シイタケ栽培農家は、先行きが懸念されました。しかしポジティブリスト制度の施行により、国による農薬残留検査が強化されたことから、国産のシイタケ需要が高まっています。古川さんは、JAグループと全農全和会の協力のもと、最大産地の九州で開催される九州入札会に約7割を出品しています。

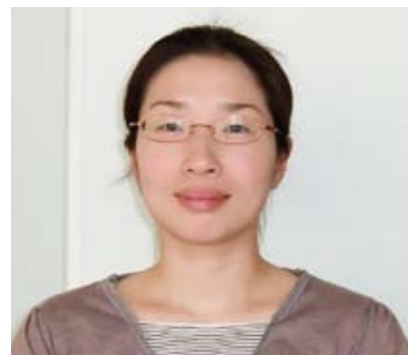
「これからも国産原木栽培ならでは、味わいと風味を守るため、安全でおいしいシイタケ作りに励んでいきます」と話していただきました。

■部会で販路拡大

JA葬祭のハーモニー斎場の香典返しに、乾燥シイタケが出せるようになり、つづいて12月、泗水にオープンする斎場での取り扱いなど、販売数量の拡大が期待されます。「今後、きくちのまんまや道の駅などへ、販路をさらに拡大していきたい」と抱負を述べられました。

■好きな言葉

力愛不二 「力と愛を兼ね備えてこそ、本当に自分にも他人にも優しく生きていける。」と話していただきました。



会長 村上 幸子さん
JA菊池フレッシュミズ部会

村上さんは熊本市の出身。最初は一般企業に就職していました。後に現在のご主人と知り合い、結婚されました。今では合志市で子ども三人の育児と、フレッシュミズ活動を頑張っています。

村上さん宅では、両親が酪農家として働いており、およそ四十頭を飼育しています。

■とんではねて飛び出っ

トランポリンを趣味にしているという村上さん。今年は宮崎で開催された「第二十二回全国スポーツ・レクリエーション祭」に県代表として参加。この大会は、勝敗のみを競うのではなく、誰もがいつでも、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深めることを目的としています。競技種目もグラウンド・ゴルフ、ペタンク（路上ボーリング）など珍しいものがたくさん。個人では負けましたが、熊本県チームは一勝二敗でした。」

なお、ユニフォームは、熊本県下統一

ランドマークをプリントした黄色いTシャツで揃え、すっかり熊本県をアピールしました。

■フレッシュミズでの活動

村上さんは菊池フレッシュミズに入会して三年目。最初は女性部に入っていたのですが、誘われてフレッシュミズにも入会。今年度から部会長に就任されました。

全体の活動として、年二回の交流会を行っています。今年九月には料理教室とピーズアクセサリー作り教室を開催しました。また菊池地区代表として、県下フレッシュミズ料理教室に参加。「違う地区の方と班になったのですが、みな和気藹々と楽しく作業できました。」

また、村上さんが所属している合志市支部では、現在四名の部員で活動しています。少人数の為、時々集まっの会合や、生活指導員から紹介してもらった、女性部や家の光協会等の講習会に参加しています。

■今後の抱負

村上さんは今後の抱負として、「部員を増やすこと。先輩方が盛り上げた活動の勢いを落とさずに続けていきたいです。また、皆が楽しく取り組めるような活動を目指したい。」と話されました。



……JA中央会……

盟友の主張発表でJA本渡五 和の倉田政幸さんが栄光！

～熊本県青壮年部大会～

平成21年度JA熊本県青壮年部大会が10月29日、熊本市で開かれ、盟友ら約300人が参加しました。

盟友の主張には各組織から11人が、組織活動実績発表には5人が出場し舌戦を繰り広げ、またJA青年の歌「君と」コンクールには11組織の代表が美声を競いました。

大会では、まず主催者を代表して西富大二郎県青協委員長が「政権が変わり、まだ農政の道筋が見えないが、我々青壮年部は常に団結して頑張っていきたい」とあいさつ。

審査結果では、盟友の主張発表では最優秀賞に「It's my dream!」を発表したJA本渡五和青壮



▲挨拶する西富委員長

年部の倉田政幸さんが、組織活動実績発表ではJA菊池青壮年部の「なくしてはいけないもの」で発表した武藤勝典さんが、また、青年の歌コンクールではJAくま青壮年部の多良木智晴さんと黒木優士さんコンビがそれぞれ輝き、共に九州大会に出場します。

稲刈りやコンバイン乗車体験

～あぐりんツアー開催～

JA熊本中央会は10月24日、「あぐりんツアー」体験・発見米フィールドワーク（第2回）をJA阿蘇の協力のもと、阿蘇市一の宮町で開きました。熊本市内等から児童・保護者、小学校教諭ら約100名が参加し、5月に田植えた稲を収穫しました。

鎌を使った稲刈りやコンバイン乗車体験、脱穀まで一連の作業を体験しました。またその後、ジャージー牛乳を使ったバター作り、米粉を使ったピザ作りなど楽しみました。

参加者は、「なかなか体験できないので、とてもよかったです」と話していました。



▶脱穀作業に列を作る子供たち

……JA経済連……

秋冬野菜・果実出荷大会

～満足と感動のJAブランドをめざして～

JA熊本経済連は10月20日、熊本市の全日空ホテルニュースカイで平成21年産秋冬野菜・果実出荷大会を開きました。10月から来年2月までの販売目標金額を300億円（野菜類185億円、果実類115億円）とし、産地の結集と消費地との連携のもと、目標販売金額の達成を確認しました。

平成21年産の生産計画は、野菜の作付面積は2140.2畝（前年比101%）、出荷量は6万0483.7㍑（前年比109%）。いちごの作付面積は252畝（前年比96%）、出荷量は9353㍑（前年比100%）。瓜類は作付面積が286.8畝（前年比96%）、出荷量は6825.4㍑（前年比100%）を見込んでいます。

大会では「コスト削減と多様な生産対応」「商談に生かせる情報提供と安定供給」「多様な流通対応と支持される売場づくり」「熊本産ブランドの周知と販



▲挨拶をする上村幸男経済連会長

促支援の強化」の4つの基本方針を報告し、生活者が安心して向き合える「熊本ブランド」の確立と、情報を基にした安定供給の継続で、消費地との信頼関係を築いていきます。

冷凍米飯愛食運動進発式

JA熊本経済連は、10月22日、JAグループ熊本で展開している冷凍米飯愛食運動の進発式を行いました。冷凍米飯愛食運動推進本部長の上村幸男経済連会長は、「熊本県の農畜産物のおいしさを皆さんに伝え、安全・安心なこだわり炒飯を皆さんに食べていただきたい。そして、この県産農畜産物愛食運動を、JAグループ熊本が一つになって取り組んでいきたい。」とあいさつ。熊本の豊かな自然と清らかな水に育まれた県産素材100%にこだわった、冷凍米飯の愛食運動に取り組んでいくことを改めて確認しました。

今月から

は、全農のショッピングモールJATAウンでも販売。他の県にはない、県産食材100%の地産地消冷凍炒飯は、全国から注目を集めています。



▶進発式でのガンパロウ三唱

平成21年度 JA共済全国小・中学生
書道・交通安全ポスターコンクール熊本県大会

表彰式開催

10月24日（土）熊本市内において、

平成21年度 JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール熊本県大会の表彰式を開催しました。

表彰式には、県内小・中学生の児童・生徒の作品23、113点の中から、各部門各学年の最優秀賞にあたる金賞・特別賞を受賞した26名（1名は2部門受賞）の小・中学生が招待され、その栄誉が称えられました。

表彰式では、主催者挨拶に続き、来賓を代表して熊本県より祝辞が述べら

れました。

また、大会の審査を務められた審査員を代表して、森山先生（書道）、宮崎先生（ポスター）から各部門の講評がなされ、表彰では、受賞者一人ひとりに表彰状・楯・記念品が各後援団体の来賓各位から手渡され、受賞者は緊張の面持ちで受け取っていました。

金賞を受賞した27点の作品は、11月下旬にJA共済連全国本部において開催される全国コンクールに出展されます。



▲各後援団体からの特別賞の表彰



▲特別賞・金賞を受賞した小・中学生



ファーマーズ・
マーケットは6年
間で約2・4倍

JAでは「指導事業」「経済事業」「信用事業」「共済事業」などいろいろな事業を行っています。なかでも「販売事業」では、農畜産物の流通も時代とともに大きく変化し、JAが直接、生協などの消費者組織やスーパーなどの量販店、外食産業などに販売する取り組みが広がっています。その一方で、消費者に対する直接販売で独自の店舗を設置するJAも増えています。

JAが開設し、運営しているファーマーズ・マーケットは、2002年4月の調査では558件だったものが08年4月の調査では1,364件と6年間で約2・4倍も増加しています。なかには、年間販売高が25億円という大規模なファーマーズ・マーケットもあります（JA全

中調べ）。

これからもJAグループは農業と地域社会に根ざした組織として、安全・安心な国産農畜産物の提供はもちろんのこと、総合事業を通じて組合員や地域住民の方々のための取り組みに努めていく必要があります。

「よい食クイズ」

Q・水田は地震を防いでくれる。

ウソ？ ホント？



←正解は裏面へ

あとがき

● 三月頃かわいい花が固まって咲くボケは、放春花として知られており、十一月頃から咲き始める寒ボケもある。



十一月に咲く花【木瓜】

実が瓜に似ており、木になる瓜で「木瓜（もけ）」と呼ばれたものが「ぼけ」に転訛したといわれている。

日本の代表的な家紋である藤紋、桐紋、鷹の羽紋、片喰紋と合わせて五大紋と呼ばれる中に木瓜紋があり、子孫繁栄を祈るものとして用いられた。

（花）とば 熱情

バラ科 落葉低木 中国

● 盟友の皆様のご意見や周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

電話 096-1328-11284

FAX 096-1326-15807

JA共済

手軽に入れる医療保障で、安心の毎日を！

突然やってくる病気やケガ。若いからといって安心できません。「せるふけあ」は、お手頃な掛金でしっかり保障。はじめての保障におすすめです。

●ご加入にあたりましては、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。
■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

ずっとサンキューキャンペーン実施中！
<http://www.3qja.jp>

定期医療共済
せるふけあ

09481050181

JAグループ熊本

毎月**18日**は、「**弁当の日**」

基本的ルール…
役職員自らが
①県産品・国産の素材を購入します
②自分で作って持参します

「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、食への理解促進と自給率向上、米の消費拡大等を役職員全員で取り組みましょう。

みんなのよい食プロジェクト
食は日本の未来。JAグループ

JA 熊本中央会

【よい食クイズ】

答え：ウソ

水田は洪水や土砂崩れを防いでくれる！
水田は、地震をふせぐことはできないけれど、雨水をためて、ゆっくりと地下に出すことで、洪水や土砂崩れを防いでくれています。ほかに、地下水と河川の水量のバランスをとって、地盤沈下を防いだり、水蒸気を発散して気温が上がりにすぎのを防いでくれます。

JA 全中発行「ごはんちゃんのお米クイズ（生活編）」より転載

JAグループ熊本 JAはあなたの家づくりを応援します

新築応援！エコ＆太陽光 省エネキャンペーン

快道!!

1. 太陽光発電1KWプレゼント
2. 省エネ家電（テレビ、エアコン、冷蔵庫）どれかひとつプレゼント

●期間／平成21年9月14日（月）～12月20日（日）まで
（ご成約期限／平成21年12月30日（水）まで）

42型テレビ エアコン（4畳7畳） 6/7/8/9/10畳 冷凍冷蔵庫

さらに 3. 記念樹を贈呈させていただきます
4. JA提携住宅ローンの対象となります

長期優良住宅

1. 住宅ローン控除が最大500万円が600万円に
2. 固定資産税の軽減措置が3年から5年へ
3. 住宅取得税の1,200万円控除が1,300万円に
4. 登記費用の減額
5. 現金購入の方にも投資減税が受けられます

施主代行システム JAで、安心と信頼の家づくり。

各工程において工事内容をチェック 手直し工事

各工程完了 → メーカーの社内検査 → JAの検査確認 → 次の工程へ → JAグループが着工から完成、引渡まで責任をもって施工管理いたします。

JAならではの、トータルサービスであなたの暮らしをサポートいたします。

ご相談・お問い合わせは最寄りのJAへ JA熊本経済連 施設住宅課 ☎096-328-1173